

前98回 センバツ入 高校野球

24日、第98回選抜高校野球大会（センバツ）で14年ぶりの準々決勝進出を決めた八戸学院光星。捕手の鈴木悠斗（16）は、育てくれた父雄大さん（36）と母美香さん（37）への感謝の思いを胸に聖地へ乗り込んだ。鈴木は2回戦で肩の要として投手陣を好リード。スタンドで見守る両親に成長した姿を見せた。【本記1面】

夢舞台 両親に見せられた

好リードの光星・鈴木捕手



大きな声で守備陣をまとめる八光光星の捕手・鈴木—24日、兵庫県西宮市の甲子園球場

た。初めて呼んだときの雄大さんのうれしそうなお顔は今でも忘れられない。「自分はお父さんにとって他人であり、初めての子ども。どう接していいかわからないはずなのに、必死にお父さんになろうとしてくれた」（鈴木）。野球経

感謝胸に「次戦も成長した姿を」



甲子園のスタンドから鈴木に声援を送る父雄大さん（手前左）と母美香さん（手前右）

しっかり決めて次打者の同点打をお膳立てした。鈴木は祖父や父の野球仲間（5）、岸奈ちゃん（3）と球場に駆けつけた雄大さんには「悠斗は真面目に努力し続ける子。家族を甲子園に導いてくれて感謝している」と話し、美香さんは「ずっと目指し続けてきた夢舞台を思い切り楽しんでほしい」（種方好華）